

【教科名】 機器分析実験 Experiments in Instrumental Analysis				<履修単位科目>		
学年	学科	単位数	期間	開設週数	時間/週	総時間
5	物質化学工学科 応用化学工学コース	(必修)2	前期	15	4	60
<b>【担当教員】</b> 前田 良輔 <b>【教員室】</b> 7号館2階 <b>【TEL】</b> 964-7319 <b>【e-mail】</b> maeda@kct.ac.jp 竹原 健司 7号館2階 964-7241 takehara@kct.ac.jp 井上 祐一 地域共同テクノセンター1階 964-7243 inoue@kct.ac.jp 小畑 賢次 7号館2階 964-7245 obata@kct.ac.jp 山本 和弥 7号館3階 964-7300 kyamamot@kct.ac.jp						
<b>【授業目的と概要】</b> 研究、開発、製造の各分野において高速かつ高感度の分析が必要とされ、種々の機器分析法を理解することが要求されている。本実験では、実際の試料と分析機器類を用いた分析を行い、分析機器の原理、分析法、データ解析法について学習する。「卒業研究」で必要となる分析データの取得と解析に必要な能力を育成する。						
<b>【授業の進め方及び履修上の注意】</b> 10個のテーマについて、授業の前半は理論の説明、後半は実験および解析を5班のローテーションで行う。実験中には内容に関して適宜質問を行い、実験終了後はデータ整理・解析を行わせ試問を行い、実験内容の理解を確認する。実験結果と考察を含むレポートを1週間以内に提出すること。レポートの内容に不備が認められる学生には、再レポートを課す。各レポートの受理により各実験の終了とする。最終週では試験を行う。						
授 業 項 目		内 容				時間
【前期】						
・説明		実験全般のガイダンス 実験内容の説明				4 8
・実験項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱分析実験〔熱天秤・示差走査熱量計〕</li> <li>・核磁気共鳴分析実験</li> <li>・質量分析実験</li> <li>・赤外分光分析実験</li> <li>・紫外可視分光分析実験〔溶液系・粉体系〕</li> <li>・X線回折分析実験</li> <li>・液体クロマトグラフィー実験（タンパク質の分離、分析）</li> <li>・ヒト細胞による物質分析及び機能検索手法の実験</li> </ul>				40
・レポート整理、試験						8
		(定期試験を行わない)				
<b>【達成目標】</b> ・各種機器分析手法について、原理、分析法、データ解析法を説明できる ・分析機器を用いて得たデータを解析し、目的の分析結果を求めることができる。 ・実験の内容と結果をまとめたレポートを作成し、報告することができる。				<b>【教科書】</b> 入門機器分析化学 三共出版、庄野利之他著 <b>【参考書】</b> 機器分析入門 南江堂、日本分析化学会九州支部編		
JABEE 教育目標		(B) , (C) , (E)				
準学士課程目標		(B) , (C) , (E)				
成績評価		<b>【評価基準】</b> 全ての実験を行い 適切にまとめられたレポートを全て提出すること。さらに、下記評価方法に従った総合評価において60点以上を合格とする。 <b>【評価方法】</b> 実験レポート 90%、試験 10%			<b>【オフィスアワ -】</b> 担当教員毎に異なるので、初回説明時に連絡する。	